

3	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	16100003	7テスラ磁気共鳴装置による高分解臨床画像の開発	中田 力(新潟大学・脳研究所・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>7テスラの磁気共鳴装置を実用化し、生きたヒトの脳の微細な構造を組織標本レベルの解像度で画像化しようとする挑戦的なプロジェクトで、この分野への多大な貢献が期待されている。</p> <p>現在までの論文発表は従来の装置による臨床画像に関する報告が中心であるが、一定の成果は挙げていると思われる。本プロジェクトは、難度の高い挑戦的な研究であるので、研究目的の達成には困難も伴うと思われるが、3テスラ装置アルゴリズムの7テスラ装置への移植等、準備状況に関しては、ほぼ順調に推移しているように思われる。</p>				
4	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	16100005	注入方式による体内留置式超小型電氣的神経機能調節・制御装置の開発	半田 康延(東北大学・大学院医学系研究科・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>総合的には概ね順調に研究成果を上げつつあるが、次の点にも留意して研究を推進していただきたい。</p> <p>(1) 研究経過については概ね順調であり、臨床応用の点では予定より早いペースで成果を挙げているが、励磁コイルの検討や埋込材料の生体適合性の検討など、予定より遅れている面もある。</p> <p>(2) 論文発表、口頭発表共積極的に行っている。研究成果の普及性、波及性についてはその応用範囲は広くやや高いと評価できる。</p> <p>(3) 今後の研究計画や方法では概ね妥当で、概ね達成可能と思われるが、研究経過が遅れていると指摘した項目のペースアップが必要である。</p>				